

※網掛けはそのまま残す項目

No.	ページ	見出し・内容	
1	1	<はじめに>	
		第1部 かながわの水源	
		I かながわの水源の今	
2	2, 3	○ 宇宙から見たかながわの水のふるさと	
3	4, 5	○ 相模川・酒匂川	
4	6, 7	○ かながわの水がめは? ~4つのダム湖~	
5	8, 9	○ かながわの水がめの水質	
6	10, 11	○ 全国の水質と神奈川の水質の比較 (BOD)	かながわの水質 (BOD) として整理
7	12, 13	○ かながわの水源地域の水質 (生物指標)	
8	14	○ 水源河川上流域の魚類	削除
9	15	○ アユの生息環境から見た相模川・酒匂川	
10	16, 17	○ 水源地域の山地と森林	
11	18, 19	○ 水源地域の森林の歴史	
12	20, 21	○ 水源地域の森林づくり	
		II 神奈川県の水源環境とその課題	
13	22	1 水利用の観点からみた神奈川県の特徴	第1部冒頭へ移動
14		2 水資源開発の歴史	
15		3 施策導入時点の課題	
		第2部 水源環境保全・再生の施策展開とその評価	評価については新たに章立て (第3部) して記載
		I 水源環境保全税の導入と施策展開	
17	23-25	1 水源の森林づくりの取組	
18		2 水源環境保全税の導入	
19		3 水源環境保全・再生施策とは	
		4 施策の推進	
20	25, 26	(1) 県民の意志を基盤とした施策展開	
21		(2) 順応的管理の考え方に基づく施策推進	
22		(3) 「第1期実行5か年計画」 (平成19年度~23年度) による取組	
23	27	(4) 順応的管理の実践①	
24	28	(5) 「第2期実行5か年計画」 (平成24年度~28年度) による取組	
25	新規	(6) 順応的管理の実践②	
26	新規	(7) 「第3期実行5か年計画」 (平成29年度~33年度) による取組	
27	29	(第3期5か年計画に基づく特別対策事業 (11事業) の構成)	
28	30, 31	5 神奈川県の水源環境の課題と施策展開について (第3期5か年計画)	
		II 施策の評価方法	第2部 【4 施策の推進】 で記載
29	32	1 施策評価の考え方	
30		2 施策評価の流れ	
31	新規	3 施策の効果を示す指標の設定について	
32	33	各事業の評価の流れ図	評価結果については新たに章立て (第3部) して記載
		III 評価結果	第1部へ移動
33	34, 35	○ 森林の土壌流出と水や生きものへの影響	
34	36, 37	○ 森林管理と水源かん養機能のかかわり	
35	38	○ 川は自然の浄水場~微生物の力~	
36	39, 40	○ 川の自然浄化機能を発揮させるためには	
		1 評価結果の全体総括	
37	41, 44, 45	(1) 水源環境保全・再生施策の総合的な評価 (中間評価) について	※評価結果は集約
38	41-43	(2) 評価結果の全体総括	

No.	ページ	見出し・内容	
		2 各事業の量的指標（アウトプット）、 質的指標（1次的アウトカム）による評価	アウトプットのみで 見出しを整理
39	46-49	(1) 総括	※評価結果は集約
40	50-53	(2) 特別対策事業実績一覧	
41	54-59	(3) 施策大綱構成事業実績一覧	
42	60	(4) 特別対策事業の実施箇所(H19～25)	
43	61	(5) 特別対策事業による公的管理森林の配置図 (6) 事業評価シート	削除
44	62-65	1 水源の森林づくり事業の推進	【各事業、1ページ程度で 整理】 <記載内容> ① 事業名 ② 事業のねらい・目的 ③ 事業対象地域 ④ 事業実績（H30まで） ⑤ 実施箇所図 ⑥ 写真（前後） ⑦ その他（補足情報）
45	66, 67	1 水源の森林づくり事業の推進（森林塾）	
46	68-75	2 丹沢大山の保全・再生対策	
47	76, 77	3 溪畔林整備事業	
48	新規	新3 土壌保全対策の推進	
49	78, 79	4 間伐材の搬出促進	
50	80, 81	5 地域水源林整備の支援	
51		6 河川・水路における自然浄化対策の推進	
52		7 地下水保全対策の推進	
53	82-89	8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進	
54		9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進	
55	新規	新8 生活排水処理施設の整備促進	
56	90-92	10 相模川水系上流域対策の推進	
57	93-94	11 水環境モニタリングの実施	
58	95-96	12 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	
		3 各事業の統合的指標（2次的アウトカム）による評価	
59	97, 98	(1) 総括 (2) モニタリング・評価資料	※評価結果は集約
60	99-101	①森林モニタリング（人工林現況調査の実施状況）	
61	102-105	①森林モニタリング（対照流域法調査、森林生態系効果把握モニタリング）	
62	106-113	②河川モニタリング	
63	113	③地下水モニタリング	
64	114	④ダム湖における公共用水域水質調査	
65	新規	○ 水源環境保全・再生施策の効果を示す指標等	
		4 水源保全地域の経済的価値の評価 （水源環境保全・再生施策の経済評価）	
66	115	(1) 評価の位置付け	
67	116-118	(2) 評価結果	
68	119	5 施策全体の目的（最終的アウトカム）による評価	※評価結果は集約
		第3部 今後に向けて～将来世代に引き継いでいくために必要なこと～	第4部として再編
69	120, 121	1 将来にわたり良質な水を安定的に確保し、 様々な生き物が共存する豊かな森と川を 将来世代に引き継ぐために	
		2 県民の皆様に支えられて（県民参加の取組）	
70	122-128	(1) 水源環境保全・再生かながわ県民会議の活動	
71	128, 129	(2) 市民団体の活動支援	